

各県トラック協会各位

平成 30 年 1 月 24 日
東日本高速道路株式会社
東北支社

1 月 27 日(土)にかけて東北地方全域で大雪が予想されています。 ～不要・不急の外出はお控えください～

1月27日(土)にかけて、東北地方全域で大雪が予想されています。日本海側を中心に大雪が予想されておりますので、特にご注意ください。

不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、冬用タイヤやチェーンを必ず装着し、最新の交通情報や気象情報をご確認願います。

リアルタイムの交通状況は当社のサイトをご覧ください。

1. 雪による影響が大きいと予想される高速道路名

◆E49 磐越自動車道

◆E48 山形自動車道

◆E46 秋田自動車道

2. 高速道路をご利用される場合のお願い

高速道路で事故やスタックが発生した場合には、長時間の通行止めにつながるおそれがありますので、冬用タイヤやチェーンを必ず装着ください。

3. 今後の交通への影響

当社では、実際の降雪により管内の高速道路が通行止めになった場合には当社のHPなどで情報提供してまいります。



◇雪氷作業について

冬期間は、気象状況に伴って走行環境が著しく変化するだけでなく、区間によって路面状況も乾燥、湿潤、シャーベット、積雪など、目まぐるしく変化します。

NEXCO東日本では、そんな路面状況に的確に対応し、安全・確実に走行できるよう路面状況に応じて「凍結防止作業」「除雪作業」を実施しています。こうした雪氷対策作業は、気象予測や巡回結果などに基づき、24時間体制で行っています。

【凍結防止作業】

路面の凍結が予測される場合に、凍結防止のため、事前に凍結防止剤を散布します。凍結防止剤として用いているのは塩化ナトリウムで、散布することによって水の氷点を低下させ、凍結を防ぐことを目的としています。

この作業は、車の走行帯が濡れていない場合でも、降雨や降雪が予測される場合、また路肩に除雪された雪が日中の気温上昇で溶けだし、気温低下に伴って再び凍結してしまうことが予測される場合などにも行います。作業は、確実な作業と交通の安全を確保するため、通常、時速 50 キロメートル程度で行います。

【除雪作業】

文字どおり降雪があり、路面に積雪が生じた際に行われる作業です。作業は、2～3 台の除雪トラックがチームとなり、追越車線の雪を走行車線に、走行車線の雪を路肩に排除する方法で行います。通常、時速 20～40 キロメートルで作業を行います。また、除雪を行った後、路面に残った雪が凍結してしまうのを防ぐため、凍結防止作業を合わせて行う場合があります。

◆NEXCO東日本からのお願い

「凍結防止」「除雪」といった雪氷作業を行う場合には、警察との協議により、最高速度を時速 50 キロメートルに規制するほか、追越禁止として作業を行います。作業車の後尾に警戒車を配置し、十分な車間距離をとって走行していただくようお願いしています。なお、路面に雪がない場合にも凍結防止作業を行うことがあります。それは凍結が始まってからでは危険であるとともに、凍結防止の効果が発揮されるのが遅くなってしまうためです。お客さまのご理解とご協力をお願いいたします、